



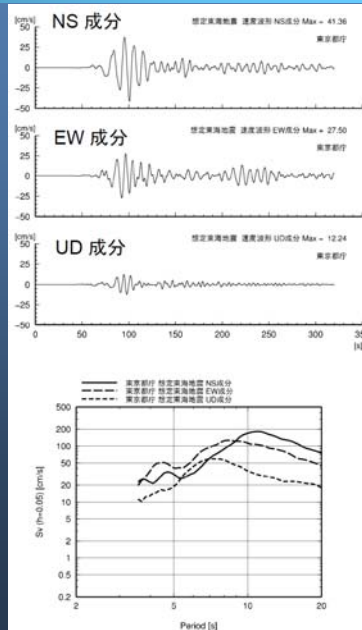
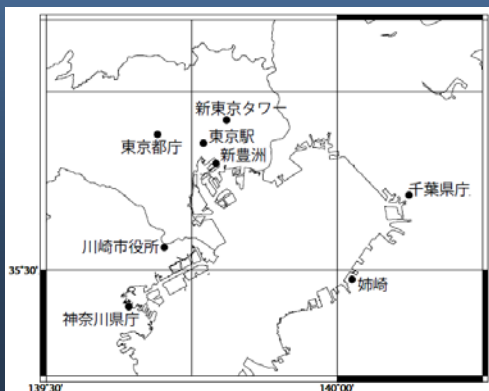
サブプロジェクト間の連携報告

瀨瀬一起・酒井慎一

東京大学地震研究所

2009年度の連携報告

- 長周期地震動予測地図2009年試作版から、想定東海地震の首都圏における予測波8波をサブプロジェクト2に提供。
- サブプロジェクト2では検討ののち、東京都庁における予測波を入力地震波のひとつとして採用。



2009年10月E-Defense実験の概要

長周期地震動を受ける耐震補強超高層建物(21階建て相当)の震動台実験

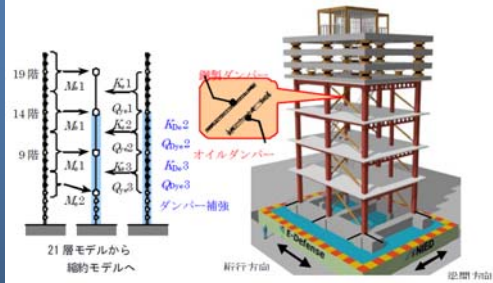


図-1 実架構実験のコンセプトと試験体



制振ダンパー取り付け部の現場溶接



梁の根元の耐震補強

(b) 耐震改修を前提とした施工実験

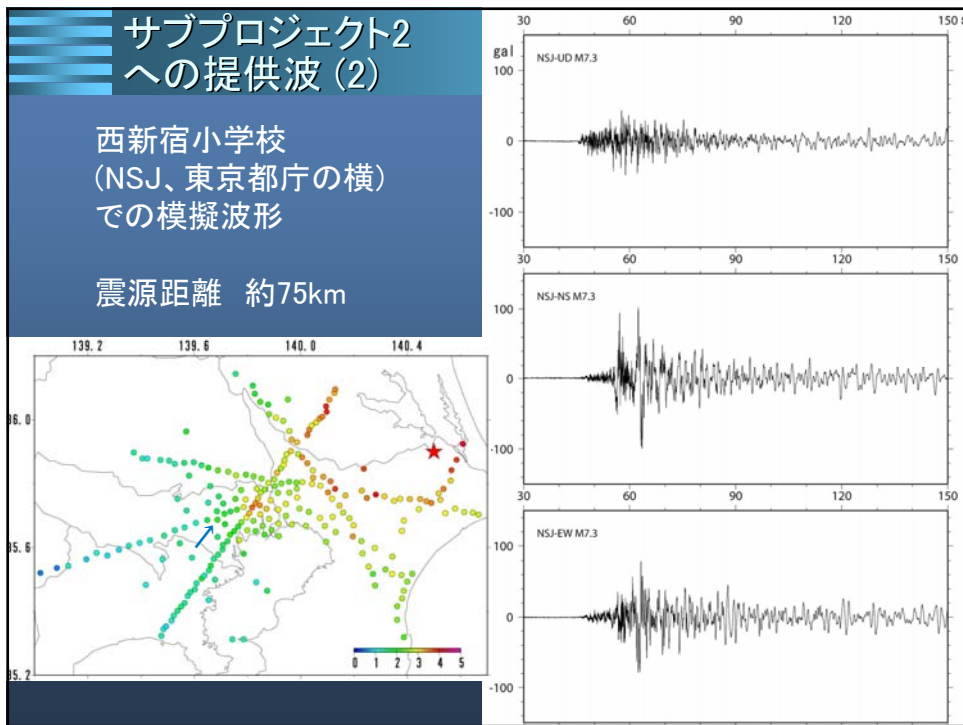
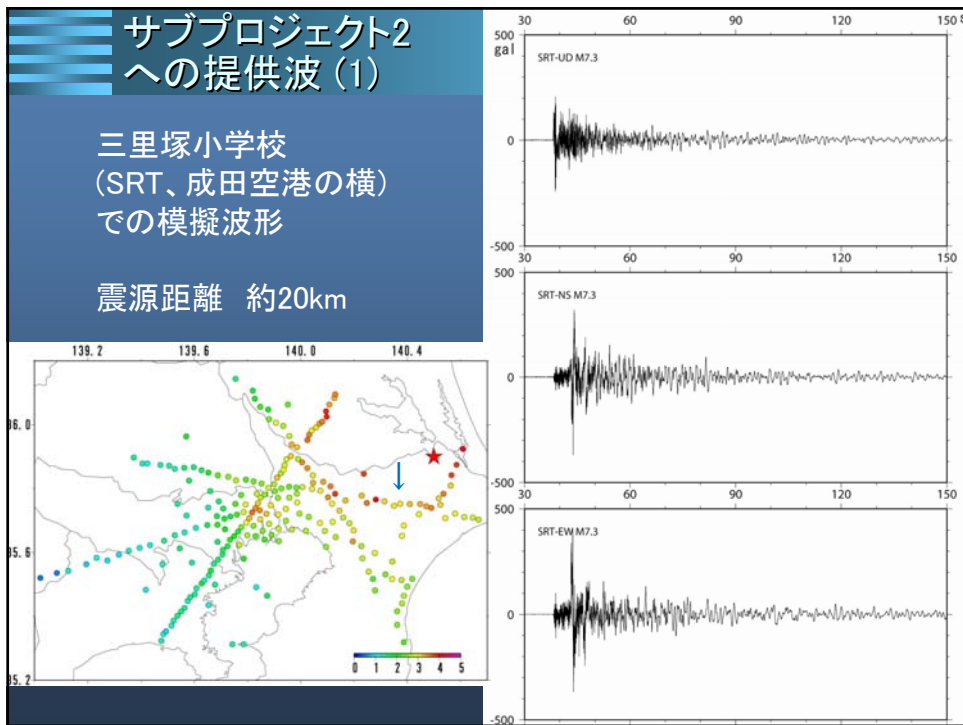
図-2 試験体製作

3

2010年度の連携報告

- 7月28日千葉県北部の地震(M5.0)の成田と新宿における記録を、M7.3にスケーリングした波形をサブプロジェクト2へ提供
- サブプロジェクト2では、10月4日にE-Defenseで行われる医療施設免震構造実験の入力地震波に用いる予定。

4



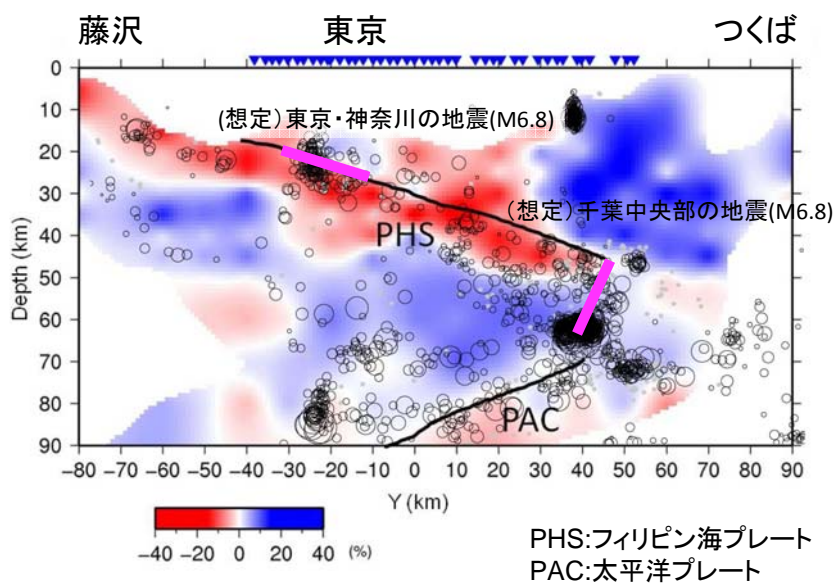
2011年度の連携計画

- 4-1の研究計画の中で、首都直下地震の震源モデル(酒井, 2010)を用いて首都圏における広帯域強震動予測を実施.
- 得られる予測波, ハザード地図などをサブプロジェクト2, 3へ提供予定.

7

MeSO-netによるトモグラフィー断面図

可能性



8

